

資料番号	6
------	---

令和4年6月17日
課名 土木建築局道路企画課
担当者 課長 秋本
内線 3890

広島高速5号線シールドトンネル工事の進捗状況等について

1 要旨・目的

広島高速道路公社が事業を進めている広島高速5号線のシールドトンネル工事の進捗状況等について報告する。

2 現状・背景

広島高速5号線シールドトンネル工事については、平成30年9月に二葉の里側から掘削を開始し、昨年10月から牛田地区の住宅地区間を掘進しているところであり、地表面沈下の抑制などの対策を取りながら慎重に工事を進めている。

3 概要

(1) 対象者

—

(2) 事業内容（実施内容）

ア 牛田地区におけるシールドトンネル工事の進捗状況

今月13日時点において、シールドトンネル工事の延長約1400mのうち、二葉の里側から約780m地点（住宅地区間約350mのうち約139m地点）まで到達している。また、5月30日にカッターの破片を回収したことから、掘削作業を一旦停止し、住宅地区間で5回目の臨時点検を実施している。その結果、掘削性能に影響を与えるほどの損傷はなかったものの、カッター2個に欠けまたは偏摩耗が確認されたことから当該カッターを交換することとした。さらにこの機会を利用し、摩耗が進行しやすい最外周部のカッターを交換するとともに、カッター以外の部材についても点検を含めたメンテナンスを行うなど、安全に掘削を行うための対応を実施した上で、掘削を再開する予定としている。なお、地表面沈下等は、予め設定している管理値の範囲内に収まっている。

イ シールドトンネル工事の契約変更

安全・安心に工事を進めるための地元対応により生じた費用、掘削に時間を要しているに伴う現場管理費等が必要となっており、これらの費用負担について、公社は受注者と協議を進めているが、契約変更の取り扱いを規定している特記仕様書の解釈に受注者と大きな違いがあるため、現在も協議が整っていない。

公社は引き続き、契約図書に基づき公正性・透明性の確保を優先し適切に対応していくこととしており、今後、進展があった際には速やかに議会に報告する。

(3) スケジュール

—

(4) 予算（単県）

令和4年度 広島高速道路公社出資金・貸付金 1,850百万円

(5) 今後の対応

引き続き、事業主体である公社や広島市と連携し、住民の不信や不安を可能な限り払拭できるよう、適切かつ丁寧な対応に努めながら、着実な事業推進に取り組む。